

①広告主名 岐阜県図書館	②著作物等のジャンル 図形の著作物
③著作物等の概要 日本・アジア各所等に関わる古地図 計 216 点 (地図名、著者 (154 名)、発行年等は別紙参照)	
④連絡先 社名 岐阜県図書館 担当部署 サービス課 郷土・地図情報係 住所 岐阜県岐阜市宇佐 4-2-1 担当者 安田 正治 TEL 058-275-5111 FAX 058-275-5115 E-mail mapstaff@library.pref.gifu.jp	
⑤詳細 <p>岐阜県図書館では、平成 7 年度より古地図の収集を行っております。所蔵している古地図のデジタル化を行い、また、デジタル化した古地図を当館 HP に掲載して、県民の利用に供する作業を進めております。所蔵に携わった当館担当者への聞き取り調査、人物事典、人名事典及び当館作成の人物文献索引による調査など、最大限の努力をしましたが、著作権者が判明しない古地図があり、情報提供を求めています。明治から昭和にかけての古地図 216 点について、著作権者、または、著作権承継者の連絡先に関する情報をおもちの方は、上記連絡先までご連絡ください。</p>	

(別紙)著作物一覧

	地図名	著者	発行年	寸法(cm)	概要
1	最新大京城全図	飯尾耕平	昭和14年(1939)	54×74	縮尺1/25000の大京城図
2	最新朝鮮全図・大京城明細図	飯尾耕平	昭和16年(1941)	77×53	縮尺1/135000の朝鮮半島の図
3	京城案内	飯尾耕平	昭和18年(1943)	54×74	印刷者として、西村重太郎の名前の記載
4	小倉築港及小倉市地図	清宮岳壽	昭和3年(1928)	65×81	縮尺1/12000で、右下に縮尺1/20万の関門附近図
5	和歌山市及海南市名勝案内地図	深見兵八	昭和11年(1936)	79×54	左上に、「阪和電鉄停留所」「南海電車停留所」などの記載
6	和歌山市及海南市名勝案内地図	深見兵八	昭和15年(1940)	79×54	左上に、「阪和電鉄停留所」「南海電車停留所」などの記載
7	京城案内図	森脇毅	昭和13年(1938)	53×76	縮尺1/25000の京城案内図
8	津市附近平面図	森木史郎	昭和6年(1931)	54×79	右上に観音寺や岩田橋附近の写真等が掲載してある
9	最新朝鮮全図・最新京城明細図	森田仙堂	昭和14年(1939)	79×54	縮尺1/135000の朝鮮半島の図
10	焼失地域記入静岡市詳細図	森田義春	昭和15年(1940)	55×78	内題は「静岡市詳細図」で静岡駅周辺の焼失地域が薄い赤で着色
11	大字日本地図	森熊五郎	明治32年(1899)	27×20	縮尺1/1600000の北陸地方を中心とした図
12	一宮市全図	森木史郎	昭和7年(1932)	53×40	縮尺1/12000の一宮市全図
13	明治神宮内外苑絵画附解説	新井廣成・中泉庸之助	昭和5年(1930)	75×106	鳥瞰図のように描いてある
14	名古屋市街図	松本彦松	昭和5年(1930)	78×54	縮尺1/20000の名古屋市街図
15	安東市街図	松宮吉郎	昭和12年(1937)	27×30	図の中央を左右に鴨緑江が流れている。
16	名古屋都市計画街路運河公園配置図	松岡利助	昭和2年(1927)	110×79	縮尺1/20000の図
17	都市計画街路運河並公園配置図名古屋市全図	松岡利英	昭和8年(1933)	109×79	縮尺1/20000の図
18	最新調査名所案内名古屋地図	松岡利英	昭和9年(1934)	79×55	発行所として松岡明文堂と記載がある
19	大南洋産業資源精図	小野三正・福田英四郎	昭和16年(1941)	110×152	縮尺1/6000000の図で、東南アジアから南洋諸島にかけての資源の分布が記してある
20	都市計画函館市街地図	小島千代松	昭和3年(1928)	54×79	縮尺1/10000の図で、右上には湯の川根崎温泉案内図あり
21	静岡清水市付近明細地図附交通網及名所案内	小杉正一郎	昭和5年(1930)	40×54	縮尺1/35000の図
22	大静岡市全図	小杉正一郎	昭和7年(1932)	54×78	縮尺1/8000の図
23	高山市略図	住敏三	昭和17年(1942)	75×54	縮尺1/10000の図
24	沼津市全図	秋山不二男	昭和4年(1929)	63×47	縮尺1/12000の図
25	静岡市全図	秋山不二男	昭和3年(1928)	51×70	縮尺1/9000の図
26	四日市港案内	酒井保興	昭和13年(1938)	55×78	縮尺1/11000の図
27	最新大広島市街地図	山本弥助	昭和15年(1940)	54×78	陸軍運輸部検閲済と印刷あり
28	高山全図	山本節	昭和11年(1936)	53×38	発行所として栄天社とあり。地図のまわりには、いろいろな会社の広告あり
29	改訂増補三版千葉市街図	菅沼雄吉郎	大正10年(1921)	55×39	縮尺1/7000の図
30	甲府市街全図改正	須藤孝平	大正10年(1921)	40×55	縮尺1/7200の図
31	相州江之島真景	壬生昌延	大正2年(1913)	52×36	右上に富士山の記載もあり
32	塩原名勝記	進藤覇城	大正2年(1913)	19×13	右下に凡例あり
33	羽黒山月山湯殿山案内地図	神林勝金	大正12年(1923)	45×61	左隅に内務省認可と記載あり
34	下関市街新地図	森次郎	大正8年(1919)	54×79	縮尺1/4900の図
35	東京市街地図赤坂区新図	森寺勇吉	大正元年(1912)	62×43	縮尺1/5500の図
36	最新実測福岡市街大地図	森岡熊彦	大正2年(1913)	54×78	縮尺1/9500の図
37	参宮案内鳥瞰図	新見南果	大正13年(1924)	18×77	三重県の鳥瞰図

38	最新奉天市街地図改正丁目入	植田梶太	大正11年(1922)	54×78	縮尺1/15000の図、上部には縮尺1/150000の奉天附近図あり
39	宇佐案内図	植松政之助	大正13年(1924)	39×54	大分県宇佐町の縮尺1/3000の図
40	実測里程付福岡市街図	上崎初次	大正元年(1912)	39×54	縮尺1/10000の図
41	商工業案内図岐阜県岐阜市	松村順雄	大正14年(1925)	55×79	右側に共進会場略図及び岐阜駅発汽車時間表がついている
42	大名古屋市全図	松岡利助	大正11年(1922)	110×79	縮尺1/20000の図
43	最新京都伏見桃山名所	小西乙吉	大正10年(1921)	39×53	伏見桃山陵や明治神宮など数枚のイラストが描かれている
44	鉄道明細重要物産記載支那全図	十字屋賊藤勝蔵	大正7年(1918)	78×109	縮尺1/5600000の図
45	最新熊谷町全図	酒井惣七	大正2年(1913)	39×55	熊谷町の地図のまわりに説明書きと写真が掲載されている
46	新愛知附録大名古屋市全図	狩野庄三郎	大正11年(1922)	110×79	縮尺1/20000の図
47	宇治山田市全図他1編	西岡弥太郎	明治40年(1907)	49×54	右に宇治山田市全図が描かれ、左に二見ノ浦実測図が描かれている
48	伊勢名所二見浦之図	西井忠次郎	明治26年(1893)	23×32	二見浦と太陽が描かれている
49	伊勢参宮名所之図	西井忠次郎	明治33年(1900)	23×33	奥に太陽が描かれている
50	伊勢名所之図	西井斎蔵	明治19年(1886)	25×35	奥に太陽が描かれ、参宮案内の図と記載あり
51	東京市実測明細全図	清水文蔵	明治29年'1896)	52×72	左端に横浜全図が描かれ、右端には関東、関西鉄道線路明細図がある
52	東京市実測明細全図	清水文蔵	明治29年'1896)	51×71	上図と同じ構図で、着色が異なる
53	大日本管轄分地図岐阜県管内全図	清水常太郎	明治27年(1894)	57×40	縮尺1/330000の図
54	大日本管轄分地図東京市図	清水常太郎	明治28年(1895)	38×56	区名と人口が左上に記してある
55	改版明細全図	清水常太郎	明治28年(1895)	73×53	内題として「大阪改良明細見図」とある。
56	大阪市明細地図	後藤常太郎	明治28年(1895)	55×40	左上に堺市の地図も掲載あり
57	大阪明細全図	後藤常太郎	明治28年(1895)	77×55	左上に大阪築港正確測量図あり
58	改正実測広島市街全図	清水庫三郎	明治27年(1894)	59×46	左下に広島湾全図あり
59	越後春日山旧図	清水佳之助	明治26年(1893)	54×56	図の上部に「春日山城形図伝」の記載あり
60	天台宗総本山比叡山延暦寺略図	清見淑雄	明治12年(1879)	37×47	西を上にして比叡山延暦寺が描かれている。
61	古峰山全図	正田治兵	明治24年(1891)	29×38	正田治兵住所として東京下谷区車坂町八十三番地の記載あり
62	御体泊?	世古六太夫	不明	17×47	東京から大阪までの里程をあらわした図もあり
63	市区改正横浜実測新図	菅村孝三郎	明治36年(1903)	53×74	東京市神田区表神保町2番地と住所記載あり。右上に横浜全市町名が記載されている。
64	横浜実測新図	菅村孝三郎	明治39年(1906)	53×74	上図と同じ構図。
65	改正横浜新地図	菅村孝三郎	明治43年(1910)	39×54	上の2図より少し大きく横浜が描かれ、左上に横浜全市町名が記載されている
66	里程明細 大日本新選地図	菅沼章	明治19年(1886)	142×36	横長の地図。編者住所に京橋区南紺屋町4番地寄留とあり。
67	新旧町村上野国全図	杉邊英象	明治40年(1907)	54×75	右上に前橋市街図、左下に高崎市之図があり
68	新旧町村上野国全図	杉邊英象	明治42年(1909)	54×75	上図と同じ構図。
69	長野県諏訪郡地図	杉田幸治	明治33年(1900)	54×39	縮尺1/100000の図
70	久能山一覽之図	杉江栄禮	明治16年(1883)	68×47	上部に久能山略記の記載あり。
71	明治新刻大阪府管内全図	水口龍之介	不明	47×70	右上に大阪市街之図、左上に大阪府管内略全図あり。
72	豊前耶馬溪真趣図	竹園松田彦六	明治25年(1892)	22×30	下毛郡の図
73	天台宗総本山比叡山延暦寺略図	真田義恵	明治13年(1880)	40×56	右下に「瀬田橋より比叡山を遠望する図」があり。
74	身延山全図	深沢市三郎	明治33年(1900)	39×54	印刷者として、豊原堂の記載あり
75	第五回内閣勲業博覧会全景図・大日本大阪荒陵山四天王寺図	森藤枝	明治26年(1893)	38×52	右に第五回内閣勲業博覧会全景図が描かれ、左に大日本大阪荒陵山四天王寺図が描かれている

76	甲斐國郡分総図	内藤温	明治17年(1884)	22×30	縮尺1/20000の図
77	最新京城全図	森山美夫	明治40年(1907)	74×55	縮尺1/10000の図
78	滋賀県管内近江国新地図	森虎雄	明治39年(1906)	39×55	左下に大津市街地図がある
79	前橋市街全図	森下鑛吉	明治41年(1908)	46×55	右上に上野国略図がある
80	最新実測福岡市街大地図	森岡熊彦	明治44年(1911)	53×77	縮尺1/9500の図
81	大阪北区天満大火明細地図	植田五逸	明治42年(1909)	55×40	明治42年7月31日の火災被害状況を示した地図
82	改正実測名古屋市全図	植田銀次郎	明治28年(1895)	73×50	西を上にして、地図のまわりに名古屋市の寺社や名所が示してある。
83	弘前市明細地図全	上田要	明治31年(1898)	27×77	青森県全図とともに記載
84	大和國法隆寺大伽藍図	上田南嶺	明治16年(1883)	48×62	地図(鳥瞰図)の上部には、法隆寺の歴史について説明を記載
85	戸隠山路図	松澤三津三郎	明治14年(1881)	69×31	著作者住所に、信濃国上水内郡戸隠村7番地とあり
86	身延山一覽表獨案内	松本米兵衛	明治14年(1881)	37×51	右上に山門からの里程記載あり
87	清韓五拾万分毫実測切図	松本徳太郎	明治28年(1895)	54×42	縮尺1/500000の図
88	日本各駅里程測量全図	松本弘	明治19年(1886)	168×115	本州・四国・九州を縮尺1/864000で描き、北海道を1/1728000で描き、沖縄周辺を1/1296000で描いている
89	叢書弁志	松波重国	不明	28×20	右手に東照宮御宮日光山御図を描き、左手に紅葉山御宮並御霊屋之図が描かれている
90	京都伏見間水路地図	松原北前田	明治27年(1894)	41×54	縮尺1/36000の図で、中央には断面図も記載あり
91	名古屋市略図及第十回府県連合共進會之図	松久哲	明治43年(1910)	55×38	右に縮尺1/30000の名古屋市略図を描き、左に1/2400の第十回府県連合共進會之図を描く
92	名古屋港案内	松下奈良三郎、高木常太郎	明治45年(1912)	23×16	縮尺1/150000の図
93	名古屋市全図	松岡利助	明治42年(1909)	63×48	縮尺1/20000の図で右下に名古屋港之図があり
94	相陽勝地大山全景之図	松岡岩次郎	明治27年(1894)	54×39	阿夫利神社を中心に描いた鳥瞰図
95	殿居囊青標紙	松雨道人	明治23年(1890)	24×16	
96	最近実測京都新地図	小林藤次郎	明治39年(1906)	55×78	縮尺1/150000の図で、右側に京都市全図、伏見町全図等があり
97	京都地図と名所	小林藤次郎	明治40年(1907)	39×55	発行者住所として京都市黒門通中立売北入の記載あり
98	明細大日本切図全部七冊之内奥羽之部	小林監峻	明治10年(1877)	71×48	東北地方北部の地図、左上に府県管轄表あり
99	明細大日本切図全部七冊之内五畿近傍之部	小林監峻	明治10年(1877)	71×50	近畿地方と中国地方一部の地図、右上に府県管轄表あり
100	明細大日本切図全部七冊之内四国中国之部	小林監峻	明治10年(1877)	71×50	中国・四国地方の地図、左上に府県管轄表あり
101	都会便覧名所画入 大日本府縣名所獨案内	小林栄成	明治14年(1881)	97×37	日本全国の江戸時代の国名や県名が四角に囲われて記載され、図の右には都会便覧がある
102	高田市街明細地図	小方長吉	明治40年(1907)	43×59	サブタイトルとして高田町高城村獨案内と記載あり
103	札幌縣管内図	小池國信	明治17年(1884)	76×61	縮尺1/781250の図
104	第十回関西府県連合共進會全図	小泉徳兵衛	明治43年(1910)	55×40	会場の鳥瞰図で図の下には共進會観覧案内の記載あり
105	越中國立山之図	小泉為次郎	明治30年(1897)	49×35	東を上に記載。編集者住所として富山県富山市中町7番地の記載あり。
106	新潟市全図	小山恒之助	明治27年(1894)	49×67	製図者住所として新潟県新潟市通二番町百番戸と記載あり
107	最新明細新潟県新地図	小山恒之助	明治28年(1895)	53×76	製図者住所として新潟市宮所通二番町七十九番戸と記載あり
108	新潟県新町村改正明細全図	小山恒之助	明治33年(1900)	97×113	製図者住所として新潟県新潟市宮所通二番町七十九番戸と記載あり
109	明治廿六年五月出版札幌市街之図自治堂蔵版	小塩武吉	明治26年(1893)	54×50	縮尺1/10000の図で、右上に上川市街之図、左上に函館市街之図、右下に小樽市街之図、根室市街之図とあり
110	札幌市街地図	小塩武吉	明治32年(1899)	66×50	縮尺1/10000の図で、左下に札幌近傍図あり
111	大日本新領地台湾地図	諸澄甲子吉	明治28年(1895)	39×27	編集者住所として、東京神田区宮本町四番地とあり
112	埼玉県管内里程一覽	朝生文就	明治13年(1880)	37×56	右上、左下に里程表あり。地図中「間」「里」のスケール記載あり

113	大分県管内地図	春山荘平	明治22年(1889)	52×62	縮尺1/216000の図
114	新富座劇場新築細図	出雲甚七	明治11年(1878)	52×37	新富町六丁目を中心とした地図。上部に説明あり。
115	下野國下都賀郡金刀比羅山神社全図	秋谷椋之助	明治22年(1889)	34×46	金比羅山の鳥瞰図。中央下に本社改造縮図(明治24年完成予定)あり
116	大日本霊場高野山実地詳細現図	宗和政太郎	明治24年(1891)	48×72	高野山鳥瞰図で図の上下に解説あり
117	函館地所明細図 天・地・人3枚全部	森下弘	明治25年(1892)	160×156	縮尺1/12000の図 函館を3枚で描いている
118	改正神戸市地図名所旧跡写真國市街案内里程表	河合松太郎	明治41年(1908)	40×55	左上に神戸市内及び附近里程表あり。
119	下野国神仏名所宿々村々	篠原安信	不明	34×48	東を上にした地図。筆者の住所に下都賀郡柏倉村とあり
120	改正函館港全図	鹿野忠平	明治32年(1899)	54×78	著者住所として、北海道渡島国函館区元町48番地と記載あり
121	改正函館港全図	鹿野忠平	明治38年(1905)	54×78	上の図と同じ構図で着色あり。
122	改正函館港全図	鹿野忠平	明治43年(1910)	54×78	上の図と同じ。
123	信濃国木曾御岳明細図	児野文助	明治29年(1896)	34×44	御嶽山鳥瞰図。編輯者住所として長野県西筑摩郡福島町六十四番地と記載あり
124	平泉旧跡中尊寺毛越寺全図	志羅山頼順・菅野弘	明治35年(1902)	40×54	平泉の鳥瞰図。
125	静岡精細市街全図	斎藤清治郎	明治23年(1890)	38×53	右上に静岡市の人口、戸数、神社数、町数の記載あり
126	改正東京一覽図	市原正秀	明治12年(1879)	37×51	西を上にした地図。左に明治の公卿らの氏名と住所の記載あり
127	横須賀港一覽絵図	四屋延陵・西村松之助	明治12年(1879)	38×51	横須賀の鳥瞰図。着色なし。
128	改正実測東京全図	山崎暁三郎	明治25年(1892)	51×70	左上に東京名所方角里程表あり
129	横須賀港明細一覽図	山本良助	明治18年(1885)	37×49	横須賀の鳥瞰図。着色あり。地図の上部に解説あり
130	岡山県市町村制区域三国全図	山本真一郎	明治22年(1889)	101×73	備前・備中・美作で色分けされている。左上に岡山市街図あり。
131	最新調査長野市全図	山内半平	明治41年(1908)	39×54	左上に鉄道汽車時間表、左下に善行寺境内明細地図あり。
132	名古屋金城及名所図	山田猪三郎	明治28年(1895)	58×41	中央に名古屋城と金の鯨鯨が描かれ、そのまわりに12の名所が描かれている。
133	訂正実測金沢市明細図	山田信景	明治36年(1903)	52×68	編輯者住所として、石川県金沢市橋場町24番地とあり。着色あり。
134	金沢市街明細図	山田信景	明治36年(1903)	53×68	上図と同じ構図。
135	最近実測金沢市街地図	山田信景	明治40年(1907)	53×68	上図と同じ構図。着色なし。
136	伊勢大々御神楽之図	神田細吉	不明	35×50	住所として、愛知県尾張国名古屋市中区久屋町5丁目6番地とあり。
137	御土産鹿嶋風景絵	真細師宜壽	不明	46×63	墨刷、鳥瞰図
138	播磨書写山之図	松鱗	不明	37×50	兵庫県姫路市書写山の鳥瞰図。墨刷。
139	最新南京地図	小山吉三	不明	78×54	縮尺1/20000の図
140	播州石宝殿真景	勝春利秀	不明	36×53	播磨国(現在の兵庫県)の石宝殿を描いた墨刷、鳥瞰図。
141	縣社武蔵國御嶽山略図	若泉達	不明	31×40	武蔵國御嶽神社を描いた墨刷、鳥瞰図。
142	官許朝熊嶺ヨリ十八州一望図	山内六助	不明	29×64	三重県朝熊岳からの眺望を描いた図。遠くに富士山も描かれている。
143	尾張國津島神社境内真図	山田楠若	不明	39×48	津島神社を描いた墨刷。
144	大垣高屋村諸所色分絵図	川井藤兵衛・秋山晴岳	明治期	266×64	大垣高屋村の地番が記された地図
145	羽栗郡不破一色村字絵図	不明	明治21年(1888)	44×30	羽栗郡不破一色村の地番の記された地図
146	可児郡上之郷村大字津橋全図	不明	不明	39×55	可児郡上之郷村大字津橋の地図
147	津橋図	不明	不明	44×59	可児郡上之郷村大字津橋の地図
148	可児郡上之郷村大字前澤	不明	不明	38×53	可児郡上之郷村大字前澤の地図
149	羽栗郡小荒井村字絵図	不明	明治21年(1888)	44×30	羽栗郡小荒井村の地番の記された地図
150	羽栗郡南之川村字絵図	不明	明治21年(1888)	44×30	羽栗郡南之川村の地番の記された地図

151	羽栗郡足近新田字絵図	不明	明治21年(1888)	44×30	羽栗郡足近新田の地番の記された地図
152	厚見郡加納十八ヶ町絵図	不明	明治21年(1888)	42×29	厚見郡加納十八ヶ町の地番の記された地図
153	厚見郡今泉村字絵図	不明	明治21年(1888)	42×29	厚見郡今泉村の地番の記された地図
154	岐阜県美濃国恵那郡福岡村大字福岡絵図	不明	不明	77×95	岐阜県美濃国恵那郡福岡村大字福岡の地図、縮尺は1万分の1
155	岐阜県美濃国恵那郡福岡村大字高山絵図	不明	不明	54×85	岐阜県美濃国恵那郡福岡村大字高山の地図、縮尺は1万分の1
156	岐阜県美濃国恵那郡福岡村大字下野美測図	不明	不明	39×42	岐阜県美濃国恵那郡福岡村大字下野の地図、縮尺は1万分の1
157	岐阜県美濃国恵那郡坂本村大字千旦林美測図	不明	不明	96×40	岐阜県美濃国恵那郡坂本村大字千旦林の地図、縮尺1万分の1
158	岐阜県美濃国恵那郡蛭川村実測図	不明	不明	108×75	岐阜県美濃国恵那郡蛭川村の地図、縮尺1万分の1
159	岐阜県美濃国恵那郡笠置村大字毛呂窪実測図	不明	不明	40×42	岐阜県美濃国恵那郡笠置村大字毛呂窪の地図、縮尺1万分の1
160	下石津郡油島新田全図	不明	不明	92×218	下石津郡油島新田の地図
161	信濃川堤防改築線実測図	不明	不明	140×53	縮尺6万分の1
162	肥後熊本戦地之図	梅堂国政・竹内榮久	明治10年(1877)	36×71	村名が赤い四角の中に書かれている。京町あたりから炎が出ている様子が描かれている。
163	新宮城下図	不明	不明	42×32	神宮城の絵図
164	改正新刻 帝国大日本里程細図	片岡精三	明治34年(1901)	147×51	風月庄左衛門が印刷・発行と記載あり。東を上に記載。
165	改正新刻 帝国大日本里程細図	片岡精三	明治36年(1903)	146×51	風月庄左衛門が印刷・発行と記載あり。東を上に記載。
166	改正新刻京都市郡名所新図	片岡精三	明治27年(1894)	51×74	風月庄左衛門が印刷・発行と記載あり。東を上に記載。
167	京都市街名所新図	片岡精三	明治30年(1897)	52×76	風月庄左衛門が印刷・発行と記載あり。東を上に記載。
168	改正新刻大阪市街区区分新図	片岡精三	明治27年(1894)	71×49	風月庄左衛門が印刷・発行と記載あり。東を上に記載。
169	改正大阪新地図	片岡精三	明治33年(1900)	75×53	風月庄左衛門が印刷・発行と記載あり。東を上に記載。左下部分に高麗橋からの里程表あり。
170	最近名古屋明細地図	富田喜作	明治43年(1910)	79×55	縮尺1/16000の図
171	名古屋市全図	富田喜作	明治43年(1910)	79×55	縮尺1/16000の図
172	名古屋市街明細地図	富田喜作	明治45年(1912)	79×54	縮尺1/16000の図
173	最近名古屋明細地図	富田喜作	大正2年(1913)	80×55	縮尺1/16000の図
174	最近名古屋明細地図	富田喜作	大正4年(1915)	79×55	縮尺1/16000の図
175	名古屋市全図	伴野辰次郎	明治41年(1908)	108×78	縮尺1/12000の図。右下に「名古屋港之図」として1/40000の図がのせてある。
176	名古屋市街全図	伴野辰次郎	大正6年(1917)	79×54	縮尺1/16000の図。左下に「名古屋港之図」がのせてある。
177	仙台市測量全図	渡邊為治郎	明治34年(1901)	47×64	縮尺1/250000の図。白黒。
178	日本商工業別明細図之内NO889津山	根元弘	昭和28年(1953)	53×76	地図のまわりに写真や会社の広告あり。
179	日本商工業別明細図之内福知山市	根元弘	昭和27年(1952)	54×75	右に福知山市、左に綾部市を記載。
180	日本商工業別明細図之内福山市	根元弘	昭和26年(1951)	54×75	右端に鞆町の地図あり。
181	日本商工業別明細図之内松山市	根元弘	昭和26年(1951)	54×75	左下に松山市全図あり。
182	日本商工業別明細図之内松山市	根元弘	昭和32年(1957)	54×74	左下に松山市全図、右下に久米・石井地区の地図あり。
183	日本商工業明細図之内みやざき	根元弘	昭和32年(1957)	54×74	右上に西都町、右下に宮崎市住吉地区、左上に西都町妻地区の地図あり。
184	日本商工業別明細図之内NO1075高	根元弘	昭和29年(1954)	54×74	左端に飛騨高山鳥瞰図、左下に高山市南部の地図あり。
185	大正調査番地入横浜市全図	松信太郎	大正2年(1927)	54×78	片山興三吉が発行、金井直三が印刷・発行と記載されている。
186	大正調査番地入横浜市全図	松信太郎	大正4年(1915)	54×79	伊藤島次郎が発行、片山興三吉が印刷・発行と記載されている。
187	大正調査番地入横浜市全図	松信太郎	大正14年(1925)	55×79	伊藤島次郎、片山興三吉が発行、金井直三が印刷・発行と記載されている。
188	大正調査番地入横浜市全図	松信太郎	大正4年(1915)	54×79	伊藤島次郎が発行、片山興三吉が印刷・発行と記載されている。

189	大正調査番地入横浜市全図	松信太郎	大正12年(1923)	55×79	伊藤島次郎が発行、片山興三吉が印刷・発行と記載されている。
190	大正調査番地入横浜市全図	松信太郎	大正15年(1926)	55×78	片山興三吉が印刷・発行、金井直三が印刷・発行と記載されている。
191	最新実測地番入大横浜市全図	松信太郎	昭和9年(1934)	55×79	片山興三吉が印刷・発行、金井直三が印刷・発行と記載されている。
192	改正明細区分東京新図	大澤大三郎	明治17年(1884)	54×45	藤井利八が出版と記載されている。
193	大垣市明細地図	矢崎慶吉	昭和10年(1935)	64×47	縮尺1/10000の図。
194	美濃国名邑風致簡覧図	川瀬善一・水谷善七	明治14年(1881)	51×37	美濃国の地図に、美濃国概略形状一覧表、道路河川里程表とともに、南宮神社、養老の滝などの名所が描かれている。
195	美濃岐阜市街全図	川瀬善一・水谷善七	明治17年(1884)	38×53	多色刷り。金華山を中心に昔の岐阜市が描かれている。
196	岐阜市街新全図	川瀬善一	明治22年(1889)	74×51	六月勤二が出版。明治22年頃の岐阜市の地図を中心に描き、そのまわりには、商店、寺院などの絵が描かれている。
197	西国三十三所独案内	大久保慶十郎・岩崎幸八	明治15年(1881)	66×50	中山道、東海道等のほかに、旧城下、名所、村名が記されている。谷汲山華厳寺は境内の様子が絵で描かれている。
198	美濃谷汲山真景全図	豊田義峰・竹中群龍堂	明治11年(1877)	49×68	谷汲山縁起が記され、本堂までの境内の様子が絵図で描かれている。
199	勅願所美濃国虎渓山永保寺絵図	矢野平兵衛・小田切春江	明治14年(1881)	39×52	虎渓山永保寺境内の絵図が描かれている。白黒で明治14年2月1日に出版届が出ている。
200	岐阜県新地図	若山又二郎	明治27年(1894)	72×50	左上に「飛騨高山市街之図」「大垣町市街之図」「岐阜市之図」が描かれている。
201	改正美濃国明細全図	長瀬寛二・伴野辰次郎	明治17年(1884)	70×87	美濃国の略説が図の左上に記されている。美濃国の郡ごとに色分けがされ、村名、戸長役場などが明記されている。
202	新撰飛騨国明細全図	長瀬寛二・伴野辰次郎	明治18年(1885)	66×75	飛騨国について図の左下に記されている。飛騨国の郡ごとに色分けがされ、村名、戸長役場などが明記されている。
203	美濃国西半面図	竹中栄助	明治29年(1896)	119×145	縮尺、三寸を以て一里とすの記載あり。
204	美濃国養老公園全形絵図	藤塚造六	明治22年(1889)	39×54	地図の左端部分に、養老公園についての記述がある。養老公園全体の様子が白黒で描かれている。
205	最近実測岐阜市明細図	宮部銀次郎	大正4年(1915)	40×54	右側には「美濃電気軌道案内」の地図あり。
206	実測岐阜市全図	勅使川原溥	大正6年(1917)	40×55	右上に縮尺1/100000の「岐阜市付近で聞き軌道案内」が記載。
207	美濃養老公園全図	和田玉壺	明治26年(1893)	40×53	養老公園の多色刷図。和田玉壺が製図を行なっている。
208	濃州養老湯山図	岡本喜十郎	不明	36×49	養老公園の千歳楼を中心に描かれた絵図で白黒印刷。
209	大垣市街地図	足立福太郎	大正7年(1918)	54×78	左端に大垣市位置及び沿革の記載あり。
210	大垣市(鳥瞰図)	小山吉三	昭和7年(1932)	15×42	大垣市の鳥瞰図の下には大垣城や大垣市役所等7枚の写真が掲載されている。
211	岐阜長良川鶺鴒之図	清水一郎	明治22年(1889)	37×43	鶺鴒の様子が描かれている。
212	谷汲山華厳寺全図	不明	明治30年(1897)	39×55	仁王門から本道までを南東方向より鳥瞰図的に、絵で描かれている。
213	美濃国谷汲山絵図	不明	不明	38×50	地図上部に、谷汲山華厳寺の縁起が明記。中央には仁王門から表道、そして華厳寺本堂までが鳥瞰図的に描かれている。
214	保木脇村・下河和村入会山絵図	不明	不明	32×45	保木脇村・下河和村の範囲が示されており、中央には、公有地と明記されている。
215	第八大区十三小区武儀郡上之保村地	不明	不明	310×107	武儀郡上之保村地引絵図と明記されている。区画には番地が明記されている。
216	岐阜市地図(忠節・天神・西野・京町)	不明	不明	55×95	区画ごとに番地が明記されている。中央に高等女学校の敷地が描かれている。